

2020年 3月 3日

一般社団法人九州経済連合会

九州の未来のエネルギーに関する提言について

一般社団法人九州経済連合会（会長：麻生泰）は、現状のエネルギー事情や地勢的強みを踏まえ、今後の脱炭素化に向けた効果的な産業振興方策につなげるため、下記のとおり「九州の未来のエネルギー」に関する提言を行います。

記

1. 背景・目的

世界が今世紀後半の早い段階でのカーボンニュートラル化を目指す中、わが国は昨年6月のG20大阪サミットの議長国として、イノベーションを軸に世界の温暖化対策をリードしていく姿勢を示した。

一方、昨年12月のCOP25では、パリ協定の1.5°C～2°C目標への行動強化が見送られるなど、各国間の溝の大きさが浮き彫りになるとともに、日本の石炭火力発電への姿勢等に厳しい批判を受ける側面も見受けられた。

このような情勢の中、わが国においてはエネルギー・環境に関する見通しを見極めるとともに、更なる技術革新や社会実装の実践、国際的なアピール等が求められている。

2. 提言の概要

九州におけるエネルギー自給率（全国比27%高）、CO₂排出量（同11%低）、電気料金（同8%低）等での優位性を踏まえ、「①再エネの主力電源化」、「②蓄エネの社会実装」、「③脱炭素化の面的展開」、「④原子力の着実な運用」、「⑤環境金融の啓発」を戦略軸として、東アジアでサステナビリティの中核的な役割を果たすべき。

3. 提言書（添付資料）

(1) 【和文版】ゼロエミッションを先導する九州のエネルギー環境・産業の再構築
（九州からの未来提言と5つの戦略）

(2) 【英文版】Leading to ZERO EMISSIONS by Rebuilding Energy, Society and Environment in KYUSHU (Future proposals and 5 strategies from Kyushu)

以上

[お問合せ先]

（一社）九州経済連合会 産業振興部 田村、西村
（福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館6階）

Tel: (092) 761-4261 E-mail: nishimura@kyukeiren.or.jp